

令和3年11月17日

関係者のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 成川一正

新潟市の中学校で「避難所運営(HUG)訓練」完結編

日時:令和3年11月17日 13:00~15:00(5限・6限の2コマ)

対象者:中学校3年生約100名(3クラス)

講師:新潟県支部防災士7名

テーマ:「地域と学校ウエルカム参観日」~コロナ禍における避難所運営~

【実施内容】

「地域と学校ウエルカム参観日」~コロナ禍における避難所運営~と題してHUG訓練*を体育館で保護者及び校区民、市内の社会教育関係者などに「防災教育」の集大成として披露した。



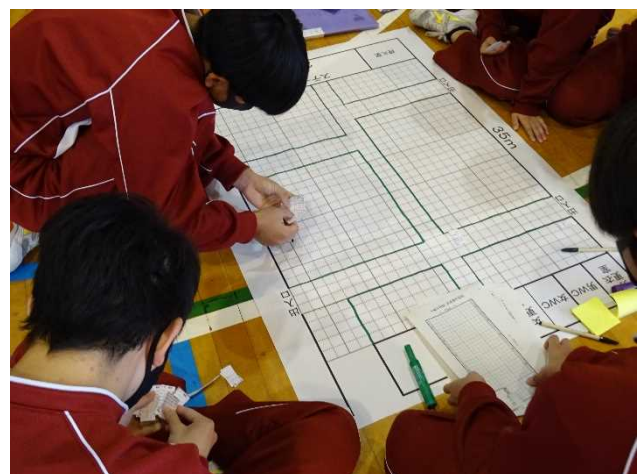
担当した防災士



班ごとにHUG訓練を開始

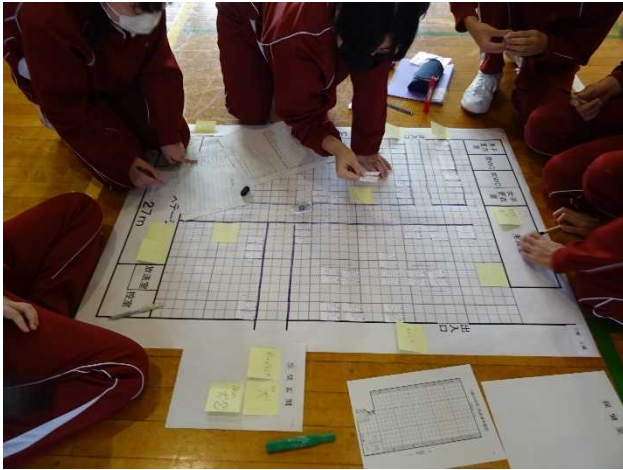


体育館の様子

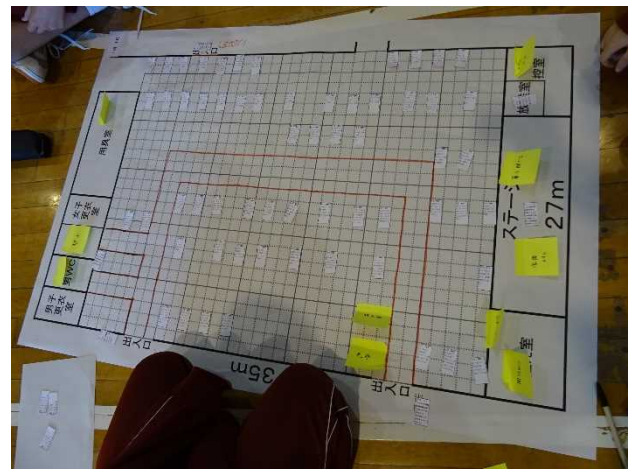


まずは、通路から

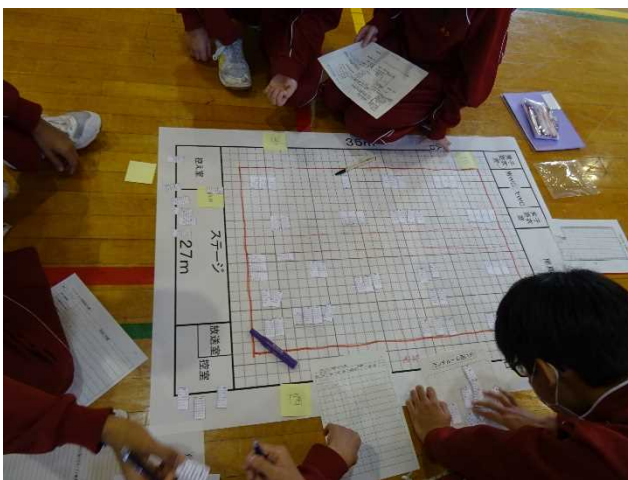
*「HUG」は、静岡県が開発した避難所運営ゲーム。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを用いて、学校の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事に対応する模擬体験するゲームです。コロナ禍も意識して感染者の疑いのある避難者やソーシャルディスタンスにも配慮した配置がポイントとなっています。



だんだん避難所らしくなってきた



整然と避難者を配置



壁側通路 個性的なレイアウトも



段ボールベットと避難所グッズの展示



何人のれる？段ボールベットは丈夫です



段ボールベットの構造をチェック

生徒は、「マイ・タイムライン教室」で災害の種類と住んでいる地域の特性を学び、気象情報や警戒情報の取得の仕方を実践した。「自分の命は自分で守る」と「率先して安全が確保できる」を身につけたうえで HUG 訓練を実施して「助けられる側から助ける側に」大きく変化した。